私たちの活動を紹介します

琴浦町

木育（もくいく）サポート 森のきこりん

会長：木山（きやま）　美佐枝（みさえ）さん
＜連絡先＞ sakamoku@tiara.ocn.ne.jp

＜設立年＞平成 27 年
＜構　成＞ 14 名
①木育活動・自然愛護に共感する個人・団体
②木を使った住宅建築に関係する個人・団体
③児童・幼児教育に関係する個人・団体

まずは自分たちが楽しむこと!

私たちの活動の目的は、木と子どもの架け橋となり、木を子どもの頃から身近に使っていくことを通じて、人と木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育てることです。

活動を行う上で大切にしている事は、自分たちが参加して、楽しめているかという事です。全てのイベントに参加できる会員は少ないので、参加した会員が感想や失敗談、良かったことを報告し全員で体験を共有しています。イベントの参加者からお礼状が届くこともあり、活動の励みになっています。

小学校、公民館、こども園等で子どもたちやその保護者を対象とした木育教室、木を使ったモノづくり教室やワークショップ、積み木の「木ころん」を使った積み木遊びやレンタル、木の玩具や木製品、日本古来の木の住まいの形など木の文化の普及・伝承、木育についての研修会の企画・開催等、様々な活動に取り組んでいます。

木育とは
一言でいうと **木が好きな人を育てる活動**
子どもをはじめとするすべての人びとが、木とふれあい、木に学び、木と生きる。それが『木育（もくいく）』です。

日本海新聞ふるさと大賞 2019 琴浦町の部を受賞しました。

世界に一つだけの木のおもちゃに出会う

木育イベントの中に「ロボ木（き）一」という自分で組み立てる木のロボット製作があり、ロボ木一の顔、髪型、服などの飾りつけは自由です。

アニメ「ピノキオ」に出てくるおじいさんのようにロボ木一の生みの親になることができます。ロボ木一の帽子を作る男の子、おしゃれなカバンを作るお母さん、木の実でピアスをつける男の子、毛糸で長い髪をつける女の子など毎回違う表情のロボ木一が誕生します♪

研修に参加して自分磨きもします!

人に伝えるだけでなく、自分たちも木育について学びます。そして研修会を企画し、会員以外の県内外の方とも木の魅力（みりょく）を共有します。智頭町在住の樹木の専門家山本福壽（ふくじゅ）先生と地元の山を散策して木や葉っぱの香りを楽しみます。また木育の専門家である島根大学の山下晃功（あきのり）先生から木育について学びます。そして木山会長を中心に木育インストラクターやおもちゃコンサルタントの資格を取得する会員も在籍しています。

今後の目標や抱負

遊んで終わりではなく、片付けまでを子どもたちにさせてほしいという保護者の声があり、そうした一連の流れを取り入れています。

おかげ様で琴浦町内に限らず西部は南部町、東部は智頭町まで、鳥取県全域で活動しています。会員の募集もしていますので、ぜひあなたも参加してみませんか？

寄稿：佐伯（さえき）　裕美（ひろみ）さん